

トルコギキョウの新品種「福花5号」

花き部

1 背景、目的

本県のトルコギキョウ生産は、消費者のニーズに応える品種の育成や種子低温処理等の安定生産技術の開発によって生産が拡大し、平成16年度には作付面積28ha、総生産額8億円に達しています。今後、多様な消費需要に応えるためには、特徴的な色彩を持ち、花形・草姿が良くボリュームがあり、花持ち性が優れるなど評価の高い品種の育成が必要です。中でも、黄色系は品種数が少ないことから、結婚式等の業務需要に対応できる大輪・八重系統の育成が求められています。そこで、本県の気象条件に適し、花形・草姿に優れた黄色系・大輪・八重咲きのオリジナル品種を育成しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) 平成15年に県内トルコギキョウ産地から有望な系統を収集し、約20,000粒の種子を得ました。15年秋にこれらの種子を播種し、得られた実生株の中から1次選抜によって、花色が黄色で八重と一重の150株を選抜しました。この系統について、16年春から17年秋まで八重系統の固定化を行い、18年に、開花時の形質が安定していることを確認して育成を完了しました。
- 2) 「福花5号」は、花色が黄色の八重咲き大輪系統です。3月定植での開花日は7月17日で、八重系の「ニューリネーションイエロー」より10日、「キングオブスノー」より7日遅咲きです。
- 3) 花形が平わん形で、同じ黄色系の「ニューリネーションイエロー」と比較して花弁数が多く、花径が大きいため、花のボリュームに優れ、茎が硬く、草姿が優れています。

3 主要データなど

表1 「福花5号」の開花時の形質(平成18年)

品種・系統	開花日 (月/日)	切花長 (cm)	茎長 (cm)	節数	一次 分枝数	茎径 (mm)	花蕾数	花径 (cm)	花弁数	花色
福花5号	7/17	78.6 (5.0)	53.9 (8.7)	11.6 (6.9)	2.8 (21.0)	6.1 (13.0)	10.7 (16.0)	8.2 (3.3)	25.0 (13.0)	黄色
キングオブスノー	7/10	80.2 (5.2)	53.9 (11.0)	10.9 (4.9)	4.8 (18.0)	5.3 (8.1)	15.0 (10.0)	7.6 (3.8)	24.3 (6.8)	白
ニューリネーション イエロー	7/7	84.8 (7.1)	49.1 (12.0)	9.0 (12.0)	1.8 (42.0)	5.2 (5.2)	8.8 (8.5)	6.3 (5.8)	16.8 (16.0)	浅緑黄

注) 1. 耕種概要 17年12月20日播種、18年1月16日まで種子低温処理(10℃) 3月19日まで育苗(昼温/夜温:23℃/15℃) 3月20日定植
2. ()の数値は変動係数((標準偏差/平均値)×100)を示す。



図1 「福花5号」の花形(平成18年7月)